

新潟県の地震概況 令和8年(2026年)5月

令和8年6月19日

新潟地方気象台

【5月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は1回(最大は震度3)でした。このうち、新潟県とその周辺(図1)で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした。(「期間内に発生した主な地震」を参照)

【5月に新潟県周辺で発生した地震】

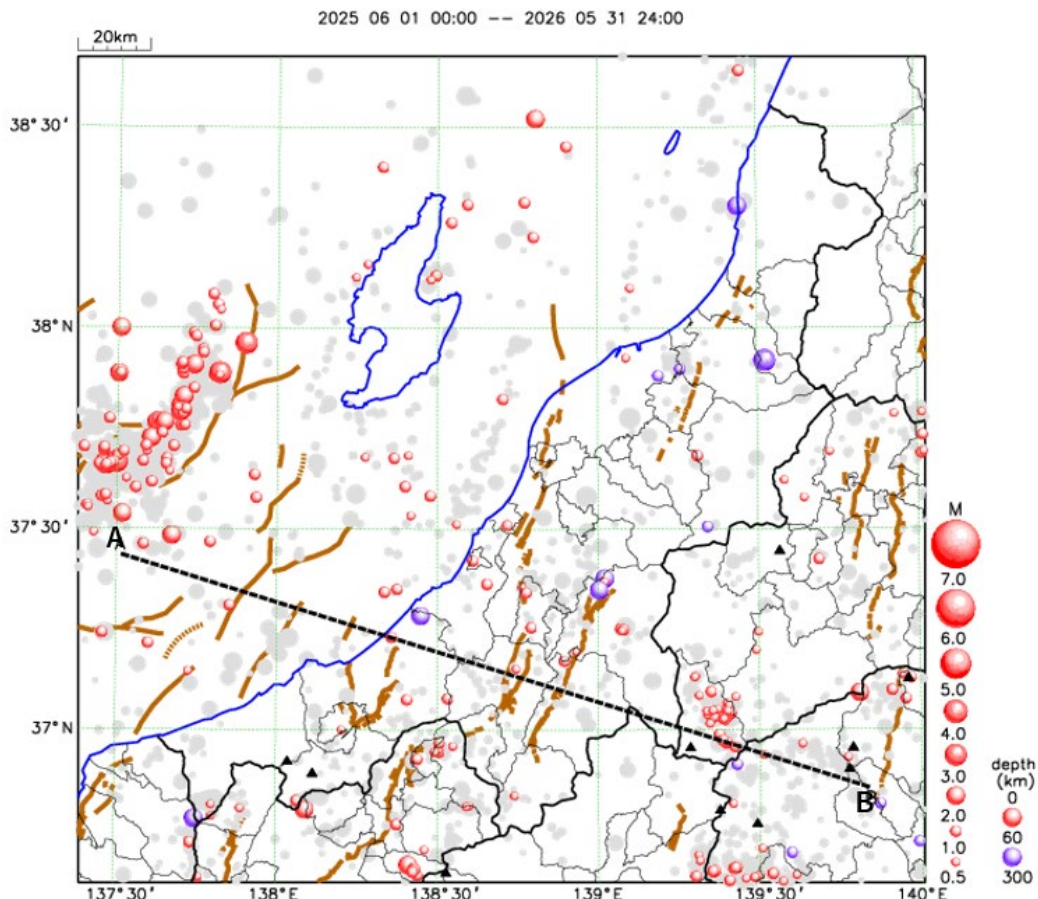


図1 震央分布図(深さ0~300km、M0.5以上)

※過去1年間の地震を示す。令和8年5月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示す。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、■は深部低周波地震を示す。

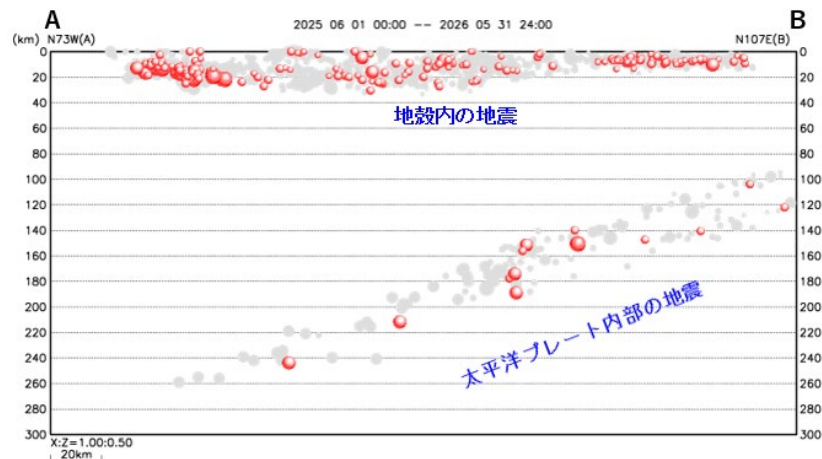


図2 断面図(図1の領域内をA-B面で投影: 縦軸の深さは1/2の縮尺)

【期間内に発生した主な地震】

- ① 15日20時22分 宮城県沖の地震（深さ46km、M6.4）により、宮城県で震度5弱を観測したほか、北海道から関東甲信地方、新潟県及び静岡県にかけて震度4～1を観測しました。新潟県内では村上市で震度3を観測したほか、中越・下越地方を中心に震度2～1を観測しました。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生しました。1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近では東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発でM6.0以上の地震が時々発生しています。

【新潟県内で震度1以上を観測した地震】

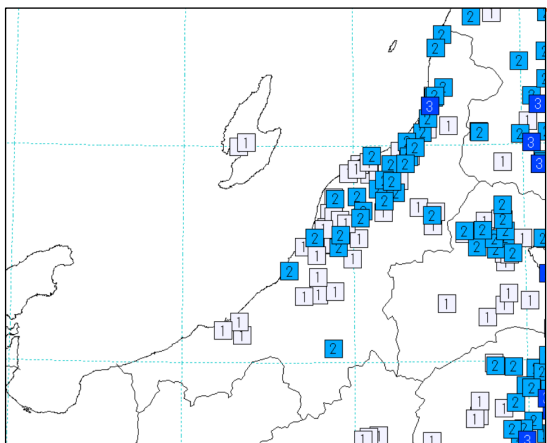
期間 2026年5月1日～2026年5月31日

地震の発生日時（年/月/日/時:分）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 *は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2026年05月15日20時22分	宮城県沖	38° 54.2' N	142° 05.8' E	46km	M6.4	5弱
震度 3 : 村上市岩船駅前 *						
震度 2 : 長岡市小島谷 *, 三条市新堀 *, 加茂市幸町 *, 見附市昭和町 *, 田上町原ヶ崎新田 *, 刈羽村割町新田 *, 南魚沼市六日町, 新発田市乙次 *, 新発田市住田 *, 新発田市中央町 *, 新発田市真野原外 *, 村上市片町 *, 村上市寒川 *, 村上市三之町 *, 村上市山口 *, 村上市府屋 *, 村上市岩沢 *, 五泉市太田 *, 阿賀野市岡山町 *, 阿賀野市姥ヶ橋 *, 阿賀野市かがやき *, 阿賀町津川 *, 胎内市新和町, 新潟北区東栄町 *, 新潟空港, 新潟秋葉区新津東町 *, 新潟南区白根 *, 新潟西蒲区巻仮設庁舎						
震度 1 : 上越市木田 *, 上越市頸城区百間町 *, 上越市三和区井ノ口 *, 長岡市浦 *, 長岡市上岩井 *, 長岡市小国町法坂 *, 長岡市山古志竹沢 *, 長岡市寺泊敦ヶ曾根 *, 長岡市中之島 *, 長岡市与板町与板 *, 長岡市中央公園 *, 三条市西裏館 *, 三条市荻堀 *, 小千谷市城内, 出雲崎町米田, 新発田市本町 *, 村上市塩町, 燕市秋葉町 *, 燕市吉田西太田 *, 燕市分水桜町 *, 五泉市村松乙, 聖籠町諏訪山 *, 弥彦村矢作 *, 関川村下関 *, 阿賀野市山崎 *, 阿賀町鹿瀬 *, 阿賀町豊川 *, 阿賀町白崎 *, 胎内市黒川 *, 新潟東区下木戸 *, 新潟中央区美咲町, 新潟中央区新潟市役所 *, 新潟江南区泉町 *, 新潟西区寺尾東 *, 新潟西蒲区巻甲 *, 佐渡市千種 *, 佐渡市河原田本町 *						

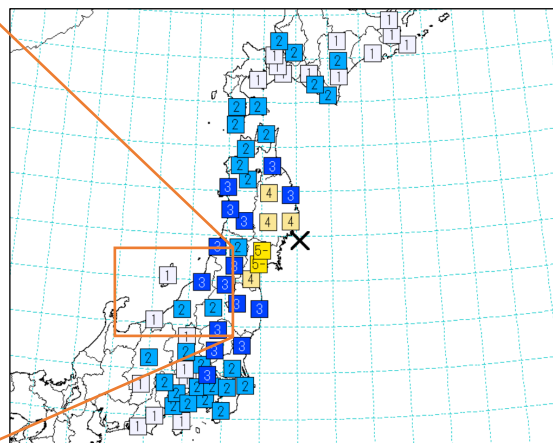
【震度分布図】

図中 ○ は震度観測点を示す

① 15日20時22分 宮城県沖の地震
観測点別震度分布図



地域別震度分布図



凡例	
5	震度5弱
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1
X	: 震央

【新潟県内で最大震度 1 以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2025 年							2026 年					合計
	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	
震度 1	0	3	0	1	0	1	6	5	2	1	2	0	21
震度 2	0	2	2	0	3	4	3	0	0	2	5	0	21
震度 3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3
震度 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	5	2	1	3	5	10	5	2	3	8	1	45

【火山活動状況（新潟焼山）】

新潟県の活火山「新潟焼山」の火山活動状況や警戒事項については、以下の資料をご覧ください。

「新潟焼山の火山活動状況」（気象庁HP）

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/307.html

【防災教育に使える副教材・副読本ポータル】

気象庁では防災教育にご利用いただけるeラーニング教材を公開しました。自治体職員向けの研修や、自治会の研修等にぜひご活用ください。ワークシートも附属しています。

・eラーニング「地震・津波から命を守る」

地震・津波から命を守るための基本的な知識と取るべき行動を学びます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jma-svd-el/kazan/kazan.html>

・eラーニング「火山災害から命を守る」

火山災害から命を守るための基本的な知識と取るべき行動を学びます。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jma-svd-el/kazan/kazan.html>

※この他にも「防災教育に使える副教材・副読本ポータル」サイトで有効な教材を各種公開しています。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/fukukyouzai/index.html>

注) 利用にあたって

- 資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- 気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

- この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- 資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

【地震・津波一口メモ】

地震本部のホームページ

地震調査研究推進本部(通称:地震本部)は、日本政府が地震に関する調査・研究を一元的に推進するために設置した特別な機関です。阪神・淡路大震災(1995年)を契機に、地震防災対策特別措置法に基づいて1995年7月に設立されました。本部は文部科学省の特別機関で、本部長は文部科学大臣となっています。この中には、2つの主要な委員会があり、その中に「地震調査委員会」があります。

地震調査委員会では、地震活動の評価、長期的な地震発生確率の評価等も行っています。新潟県は、海もあり山もある地域です。陸域の活断層、ならびに海域活断層の評価は、県の被害想定等でも参照されています。ぜひ、一度、地震本部のホームページを訪れてみてください。

(参考 URL)

地震本部のトップページ:<https://www.jishin.go.jp/>

主要活断層の長期評価:https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/major_active_fault/

海域活断層の長期評価:https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/offshore_active_faults/

地震本部
政府 地震調査研究推進本部
The Headquarters for Earthquake Research Promotion

ここをクリック ↓文字のサイズ 小 中 大 日本語 | English Google 提供

地震本部の紹介 地震に関する評価 地震・津波の提供情報 委員会資料 ユーザ向け

自治体向け (防災担当者) 教育機関向け (幼稚園・小学校・中学校・高等学校など) 研究者向け キッズ向け

ひとめでわかる地震本部の活動 各種パンフレット

最新の震源情報 データ公開ポータルサイト

地震本部の素材集 地震本部ニュース広報誌

用語集 令和6年能登半島地震に関する情報

都道府県ごとの地震活動
地域ごとに、地震に関する情報を閲覧できます。

北海道地方 中部地方 東北地方 中国・四国地方 九州・沖縄地方 近畿地方 関東地方

主な地震活動の評価 主要活断層帯の長期評価 海溝型地震の長期評価 全国地震動予測地図 2020年版

図3 地震本部のトップページ

「地震に関する評価」をクリックすると、様々な評価をみることができます。